

LOUIS VUITTON

Deep Time



ルイ・ヴィトンから、ウォッチ & ファインジュエリー部門のアーティストック・ディレクター フランチェスカ・アムフィテアトロフがデザインしたメゾンで5番目となるハイジュエリー コレクション「Deep Time(ディーブ タイム)」が発表。特別なストーンが語る、悠久の時を超えた壮大な旅。

「Deep Time」は地球の誕生から生命の登場にいたるまでの、深遠なる究極の旅を描いた壮大なコレクション。この新コレクションではルイ・ヴィトンの唯一無二のオリジナルのデザイン・シグネチャーとメゾンが誇るハイジュエリーのサヴォアフェール(匠の技)が、ジュエリーやジュエルストーンが内包する地質や地質的遺産の起源と融合しました。総数170点を超えるユニークな作品——第1章は95点——を取揃え、過去最高数のプレシャスストーンをふんだんに散りばめた、メゾン史上最大のハイジュエリー コレクションです。

「ルイ・ヴィトンで常に私たちは、驚きに溢れ思いもよらない場所を旅する冒険者。『Deep Time』は皆様に深い過去へ、遠く離れおそらく理解することさえ困難な時間や場所へと誘います。同時に、これらのストーン——数千年の時を超えた宝物——は、地球のはじまりへと導き、世界の歴史、そしてその神秘的な地質的遺産を発見する旅へ案内してくれるでしょう」とフランチェスカは語ります。

「Geology(ジオロジー)」と「Life(ライフ)」という2つの幕で構成される「Deep Time」は、合計16のテーマを通してストーリーが語られます。今回デビューコレクションとして発表されるのは、そのうちの13のテーマ。それぞれのテーマには、変容、生命、そして相互の繋がりを軸としたこの壮大な物語を表現した精巧なジュエリーの数々がフィーチャーされています。

第1幕「Geology」では、地球史の初期に形成されたとされる2つの超大陸のうちの1つであるゴンドワナ大陸からはじまる、私たちの惑星の驚くべき進化が描かれています。この上なく希少なコロンビア産のノンオイル エメラルドを主役とする「Gondwana(ゴンドワナ)」コレクションに続き、「Volcano(ボルケーノ)」、「Wave(ウェーブ)」、「Rupture(ラプチャー)」といったテーマを通して、メゾンならではのデザインランゲージによってその爆発的なパワーに命が吹き込まれながら、さまざまな天地創造の物語が語られます。グラフィカルで力強いルイ・ヴィトンの「V」シグネチャーが、唯一無二のジュエリーに活力を与え、カスタムカットのLV ストーンは天賦のパワーを放ちます。最終章の「Drift(ドリフト)」では、アクアマリンとイエローサファイアの素晴らしい組み合わせで太陽と海を表現しつつ、第2幕「Life」への道を通ります。

第2幕「Life」では、序幕から複雑で洗練された宇宙を予感させます。生命力がクリエーションを動かし、グラフィックが有機物へと変わりながら、最初の8つのテーマに沿って壮大なジュエリーの数々を展開。「Origin(オリジン)」や「Fossils(フォッシル)」からはじまり、「Seeds(シード)」や「Flowers(フラワー)」まで、テーマごとにさまざまなテクスチャーやレイヤー、そしてもちろん最も魅力的な宝石の数々の、魅惑的なコンビネーションやコントラストが生まれています。また、ジュエリーはますます自由で多様となり、多くが形を変えて複数の方法でスタイリングできるようにデザインされています。ここには、フランチェスカが過去5年間にわたり推進し続けてきた「トランスフォーマビリティ」という方向性が具体的に表現されています。

「私たちは、最も美しいストーンを見つけるという驚くほど素晴らしいチャレンジ精神を持っています。『Deep Time』では、溶岩から形成されたもの、さまざまな大陸に由来するもの、あるいはあるアイデアを象徴するものなど、すべてのストーンが各テーマと結び付いています。『Deep Time』は、過去だけでなく、自然の美しさや生命の信じ難いほどの儚さへの賞賛でもあるのです」とフランチェスカは語ります。

「Gondwana(ゴンドワナ)」



この長大な叙事詩は、過去に存在したと考えられている2つの大陸のうちの1つで、現在の南アメリカ、アフリカ、インド、オーストラリア、南極大陸などを形成したものと考えられているゴンドワナ超大陸からはじまります。大陸の繋がりという壮大なテーマを象徴するのが、コロンビア産のノンオイル エメラルドのみを使用したこの上なく希少なレイアウトです。実に見事な7列のプラチナ ネックレスは、大陸の円運動を模したデザインの中に、メゾンのシグネチャーである「V」モチーフがアクセントとなっています。「V」モチーフは、7つのエメラルドが重なり合いながらV字を描き、その頂点には希少なブルーの色合いと完璧な彩度を持つ4.51カラットの煌びやかなエメラルドが輝いています。エレガントかつ構築的なデザインのこのネックレスには、259個のカスタムカットダイヤモンドがあしらわれています。一方、耳の形に沿ったカーブが印象的な非常にモダンなイヤリングには、合計9.29カラットを誇るエメラルドカットのエメラルド2個がセットされています。また、圧倒的存在感を誇る8.08カラットのエメラルドカットのエメラルドがあしらわれたリングは、クラシカルなセッティングにより、このストーンの稀少性が一層際立っています。





「Volcano(ボルケーノ)」





大規模な火山の噴火や地震動を連想させると共にデザイナーの芸術的なイマジネーションが燃え上がる様子、そして「ルイ・ヴィトン ウーマン」という女性像を表現するテーマ。プラチナとイエローゴールドを組み合わせて作られたハイカラーネックレスは、細かく配置された接続部により流れるようなフォルムを描きます。フランチェスカを象徴するデザインのこのジュエリーには、合計168カラットのマンダリンガーネットとラズベリーピンクトルマリンがふんだんに使用されています。燃え盛るように輝くマンダリンガーネットとラズベリーピンクトルマリンという2つの石は、溶岩の強烈な熱と圧力の中で自然に形成されます。また圧倒的なボリューム感がありながら、まるで第二の肌のように身に着けられるこのネックレスには15粒のLVモノグラムスターカットダイヤモンドも散りばめられ、完成までに要した時間は実に2,000時間に及びます。

ネックレスのエキゾチックな色の組み合わせはダイナミックなカフブレスレットにも継承されています。53.49カラットのクッションカットのトルマリンの両側には、合計28.38カラットのマンダリンガーネットが4個配され、2個のLVモノグラムスターカットダイヤモンドがアクセントとなっています。もう1つのメダリオンスタイルのネックレスはブローチにもなり、また、目の覚めるように美しいイヤリングの数々がジュエリーの新たな楽しみ方を提案します。





「Wave(ウェーブ)」





このテーマでは、私たちの地球が炎と地殻変動に包まれる中、もう1つの凄まじい地質的事象である津波と巨大な波が地球を冷やし、すべての要素を粉碎し、再構築して生き返らせる様子を想像しています。このイメージを具体的に表現しているのが、湧き上がる波の磁力を捉えた、矢のような形状で湾曲しながら落ちていくデザインが目を引くハイカラーネックレス「ウェーブ」です。瑞々しいダイヤモンドを大胆に配した「V」のシェイプはパヴェストーンとバゲットストーンの大小のバンドを交互に並べた特別なデザインで作られておりそこから下がった6.19カラットのLV モノグラムフラワーカットのフローレスダイヤモンドと、スリランカ産の見事な40.80カラットのオーバルカットサファイアが、抜群の存在感を放ちながら揺れ動きます。その最も稀少でベルベットのようなロイヤルブルーの色合いと深い彩度は、このサファイアがいかに稀有な存在かを物語っています。さらに、サファイアはネックレスから取外して別のチェーンと共にスタイリングすることも。

「首の下でカーブするウェーブは、非常に特別なデザインであり、素晴らしいコンセプトです。非常に美しく作られたネックレスには、今コレクションの傑作の1つであるストーンがセットされています」とフランチェスカは説明します。また、このモチーフと同じデザインのプレスレットやサファイアのイヤリング、リングも揃います。



「Rupture(ラブチャー)」



「Rupture」は、数億年にわたる地殻変動、そして超大陸の分離を告げるシグナルを軸とするテーマです。この変態分裂がインスピレーションとなって生まれたのが、「Deep Time」コレクションの中で最も大胆不敵なジュエリーの1つ、ブリリアントカットのジルコン33個、総重量32.77カラットを誇るオーバルカットのオパール15個、そして13.81カラットのトライアングルカットのイエローサファイアを使用したネックレスです。3種類の貴石がゴールドチェーンをベースとするフェミニンかつマスキュリンなネックレスの中で出逢う、大胆で斬新な3部作のストーリーです。多才で、2つの別々のジュエリーにも変身できるこのネックレスで使用されているストーンは、いずれも、その遺産と歴史に重点を置いて厳選されたものばかり。どこか砂のような風合いの温かみのあるジルコンは世界最古の鉱石として知られ、ダイヤモンドよりも古い歴史を持っています。サファイアの強烈なオレンジとイエローの輝きも珍しく、クールなゴールドのチェーンと共演しながら、次の進化段階へと続く太陽の到来を象徴しています。また、美しいリングやプティイヤーカーフも揃う「Rupture」は、ルイ・ヴィトンの冒険心、革新のエスプリ、そして大胆なビジョンを表現したデザインを通して、ハイジュエリーの世界に驚きと意外性をもたらします。





「Drift(ドリフト)」



「Drift」は、太陽と海への賛歌です。地球が、全能の太陽によってエネルギーを与えられた新たな地質的時代に突入し、新しい生命の夜明けを迎えます。この生命力を、2つのメインストーン——艶やかで力強いアクアマリンとイエローサファイア——の中に閉じ込め、メゾンのコードが息づく精巧な作りのネックレスに仕上げました。オープンワークデザインが重なる繊細なホワイトゴールドネックレスには、フランチェスカならではの「ジュエリーを鎧に見立てる」という概念が反映されています。ダイヤモンドがジグザグに配された2層構造のベースをキャンバスに、合計194カラットを超えるアクアマリンとイエローサファイアを驚きに満ちたレイアウトで配し、勾配を付けたVシェイプの間に18石のLV モノグラムスターカットダイヤモンドを散りばめました。グラフィカルなラインが幾何学的なリズムで脈打つネックレスにはメゾンのハイジュエリーアトリエが誇る高い技巧力とダイナミズムが表現されています。揃いのカフブレスレットとイヤリングもまた、フランチェスカを象徴するイエローゴールドとホワイトゴールドのミックスで彩られています。「私たちには、水と太陽が必要です——生命はここからはじまるのです。『Drift』では、私たちが今知っている地球の美しさとバランスを象徴しています」とフランチェスカは説明します。





「Origin(オリジン)」





天地創造による地質の進化と混乱がようやく落ち着きを見せはじめ、第2幕である「Life」への扉が開きます。

第2幕は、ホワイトゴールドとダイヤモンドのみで作られたピュアなホワイトのジュエリー「Origin (起源)」からはじまります。成長し、増殖する1つの細胞をテーマに、生命の躍動感を、ダイヤモンドが束となって連なるネックレスに表現。ダイヤモンドの緒は、捻れながら繊細なVサインと矢印を形作り、最終的に「Deep Time」の最も重要なストーンの一つである10.21カラットのD フローレスブリリアントカットダイヤモンドを取囲みます。螺旋形状を描きながら増殖し、無限大に向かうというアイデアは、ブレスレットやイヤリングにも反映されています。

「Myriad(ミリアド)」



「Origin」の進化の力とピュアホワイトのパレットはさらに続きます。ここでは、未来的でうっとりするような、まるでDNAや二重螺旋のようなジュエリーの中に、永続的な動きが表現されています。

螺旋状に広がるセンシュアルなダイヤモンドの波が、カーブしながら繊細なVシェイプを描くジュエリーからは、優雅さと力強さが滲み出ています。ネックレスと揃いのカフは、ビジュアをあしらったピンが1列に並んだ特徴的なデザイン。ピアノの鍵盤のように、1本1本にアントランブレン技法でダイヤモンドがセットされたピンが、この精巧な作りの超現代的なデザインに煌めきと動きをもたらします。このネックレスの4.11カラットのLVモノグラムスターカットダイヤモンドは取外し可能で、揃いのチェーンに取付けて着用することも。



「Fossils(フォッシル)」





「Deep Time」にとって重要な「相互の繋がり」というコンセプトは、「Fossils」——時空を超えた宝物——にも秘められています。化石こそ、今ある大陸がもともとは1つだったという謎を解く鍵となるものです。

壮大でありながら、それでいて微細なこのアイディアは、目を見張るほど美しい3連ネックレスに表現されています。それぞれのバンドはユニークなチューブ状で、さまざまなパターンやストーンのセッティング——ベゼル、クロー、カスタムカット、パヴェセッティングなどの繊細なディテールの数々に、このジュエリーの価値と素晴らしい品質が反映されています。2連目のホワイトゴールドビーズは、ホワイトゴールドとダイヤモンドで表現したメゾンのアイコン的なダミエ・パターンと、パヴェダイヤモンドを散りばめた格子模様のコンビネーションが特徴です。3連目は、ダイヤモンドがアクセントとなった繊細なハニカム・モチーフで精巧で奥行きのあるデザインが一層際立っています。これら3連を繋ぐのは、この上なく魅惑的なスリランカ産の27.83カラットのサファイアと5.52カラットのLV モノグラムスターカットダイヤモンド。合計1,740時間をかけて作られたこのネックレスは、3通りの方法でスタイリングが可能です。

「『Fossils』はまさに軌跡であり、私たちがどこからやって来たのかを教えてくれる印なのです。ネックレスはいずれも非常にユニークで、見る者が自由に読み取ることのできる象徴が刻まれています」とフランチェスカは述べています。

同セットは、それぞれ5カラット前後のサファイアをあしらったより軽やかなミニマルデザインのジュエリー3点を含む、計8点で展開されます。

「Plants(プラント)」



自然をテーマにしたこのセットの主演は、絶妙なレイアウトで配置された青々としたグリーンエメラルドと豊かなレッドルビー。この種のジェムストーンによく見られるエメラルドカットやクッションカットに対して、すべてブリリアントカットに仕上げられたストーンが、より一層その稀少性を高めています。

エモーショナルなカリスマ性に溢れたストーンの選択には、メゾンの大胆さと卓越性がはっきりと表れています。ストーンが2連ネックレスを際立たせ、そのチューブ状のフォルムが首筋に沿って優しくカーブします。フランチェスカを象徴するイエローゴールドとホワイトゴールドのコンビネーションの中に、クオリティ、色合い、そして彩度の点で完璧にマッチさせた17個のブリリアントカットのルビーとエメラルドが絶妙に配置されたネックレスは、鋭い鑑識眼の持ち主が憧れる、まさに博物館レベルの逸品です。さらに、光を取込みジュエリーを輝かせる透かし彫りを施したメタルにセットされた、総重量16カラットを超えるLVモノグラムダイヤモンドが11個も散りばめられています。ソリティアリング、繊細なブレスレット3本、そしてイヤリング1対からなるコレクションです。







「Flight(フライト)」





「Flight」と共に、壮大な旅は空へと飛び立ち、ダイヤモンドとルビーの美しいペアリングを通して、地球上で最も古い種の1つである鳥を讃えます。15ピースからなる「Flight」は、「Deep Time」コレクションの中で最大数を誇るテーマで、鳥が飛び立つ瞬間を捉えた、羽が軽やかに宙に舞う様子をイメージしています。形を変え、変幻自在に着用できるカクテルリングには、「Deep Time」コレクションの中でも最も重要なストーンの1つであるモザンビーク産の7.67カラットのピジョンブラッドルビーがセットされています。このリングは、2石のLVモノグラムフラワーカットダイヤモンドを両脇に据えたピュアなソリティアリングとして着用することも、あるいはビジュリー付きのパーティジャケットと組み合わせてソリティアをダイヤモンドのウイングでドレスアップすることも可能。また、イヤリングやブローチの他に、ルビーが連なった2本のネックレスも揃います。これらもまた、何年もの歳月をかけて完璧な色合わせが行われた末に誕生したもの。最後に、1枚1枚削り出した羽で作られたウイングシェイプのネックレスが、ボリュームと官能的な雰囲気を出します。V字型にカーブしたウイングの中心からは、4.17カラットのルビーがこの上ない輝きを放っています。

「Bones(ボーンズ)」



「Bones」は、進化の奇跡を讃え、地質と、生命や形態との結び付きをさらに強調する、洗練された新たなチャプターです。構築的でありながら動きのある「Bones」は、「Deep Time」が人類の築いてきた歴史そのものを賞讃し、コレクションの中でも最も複雑で、息を呑むほどに精巧な作品によって表現されています。

4,430時間をかけて製作された上胸を覆うネックレスは、ルイ・ヴィトン史上最も精巧な作りでまさにステートメントピースと言うべき逸品です。43.58カラットのオーストラリア産オパール、20.93カラットのモザンビーク産ペアカットパライバトルマリン、そして総重量91.74カラットのタンザニア産のエメラルドカットタンザナイトなど、比類なき輝きと色彩を放つストーンの数々がまるで大陸間を旅するように、壮大なシンフォニーを奏でます。タンザナイトは、「Deep Time」の他のテーマにも共通するチューブ状のモチーフにデザインされたホワイトゴールドとプラチナのネックレス上部のカラーにもあしらわれています。260個を超えるカスタムカットダイヤモンドを使用し正方形や長方形などさまざまなシェイプと長さのダイヤモンドビーズを交互に編み込んだ煌びやかなフリンジが上部のカラーから伸びています。細かく配置された接続部が流れるようなフォルムを描き、建築的かつ多次元的なこのネックレスはパライバトルマリンを外して単体で着用することも含め、4通りのスタイリングを楽しめるデザインに。このテーマには、オパールのソリティアリングやラキッシュオパールのブローチ、エメラルドをあしらった印象的なイヤリングも含まれています。





「Seeds(シード)」





生命の誕生という宝物を象徴する「Seeds」は先に紹介されたテーマである「Fossils」と共鳴し深い過去や自然の進化との繋がりを想起させます。ゴールドとダイヤモンドの格子模様が「Fossils」を彷彿させる1連ネックレスの両側には総重量256カラットを誇る13個のカボションカットのジューシーなルベライトとスペシャルタイトガーネットが輝きます。首元で堂々と存在感を放つこのネックレスに、揃いのデザインのイヤリングと2連のブレスレットを合わせれば、自然の美しさを表現する色彩と喜びに満ちたエネルギーが力強く放たれます。



「Flowers(フラワー)」



「Seeds」のパワーとエネルギーは、この壮大な物語の最終章である「Flowers」へと私たちを導きます。モノグラム・フラワーで表現されたこのテーマはフローラル・モチーフのメダリオンネックレスの中で生き生きと輝きます。折り重なるピンクゴールドとイエローゴールドの花びらには、カスタムカットのラズベリーカラーのルビーとピンクサファイアが交互にセットされ、その中心には、LVモノグラムスターカットダイヤモンドが1個輝いています。ダイヤモンドのパヴェリングとリンクが連なるゴールドのチェーンに吊るされたこのフラワーはイヤリングとリングにもあしらわれています。

この多層的で象徴的な本セットは、「Deep Time」という驚くべき旅を締めくくるエピローグとなるもの。古代の大陸の相互の繋がりからはじまり天地創造による地質の進化と生命の増殖を経て驚異的かつ儂い自然の美しさを描きながら、ルイ・ヴィトンのハイジュエリーというユニークかつ芸術的なレンズを通して語られる冒険と変革の物語は、最終的にここで終わりを迎えます。



「Deep Time」コレクションが披露されたのはギリシャ。エストゥディオ・カンパーナがデザインした美術的な舞台でした。ブラジルの著名なデザインスタジオがルイ・ヴィトンのハイジュエリー コレクションの発表にパートナーとして参加するのは今回が2度目で、このスタジオは、2012年に「オブジェ・ノマド コレクション」でデビューして以来、メゾンとの間で長期にわたる大規模なコラボレーションを続けています。今回、エストゥディオ・カンパーナは最古の文明の1つの発祥地であるギリシャにちなんで、「Deep Time」の壮大なストーリーをより豊かに表現しながら、フランチェスカのビジョンを反映させた没入型のインスタレーションとカスタムメイドの室内装飾を制作しました。

またメゾン史上初の試みとして、今回のハイジュエリー コレクションのデビューのために「Deep Time」のテーマに合わせて調達されたエキゾチックレザーを使用した他に類のない9つの特別なバッグも登場します。

**Photographers:**

Worn images: Solve Sundsbo

Still life and savoir-faire images: Laziz Hamani

## ルイ・ヴィトンについて

1854年の創業以来、ルイ・ヴィトンは革新とスタイルを融合した独自のデザインを常に最高級な品質で提供し続けています。

現在もトラベルラゲージ、バッグ、アクセサリなどの製品を通じて、クリエイティブでありながらエレガントで実用的である、創業者ルイ・ヴィトンが生み出した「旅の真髄(こころ)」の精神を忠実に受け継いでいます。

ルイ・ヴィトンというストーリーを作り上げたのは「大胆さ」でした。伝統を重んじ、歴史の中で建築家、アーティスト、デザイナーに門戸を開きプレタポルテ、シューズ、アクセサリ、ウォッチ & ファインジュエリー、フレグランスなどの分野を開拓してきたのです。これらの丁寧に製作された製品は、ルイ・ヴィトンがクラフツマンシップにいかにこだわりを持ってきたかという証となっています。

詳細は、ルイ・ヴィトン 公式サイト [louisvuitton.com](http://louisvuitton.com) をご覧ください。

## レスポンシブル・ジュエリー・カウンシル(RJC)について

ルイ・ヴィトンは2012年、レスポンシブル・ジュエリー・カウンシル(RJC)の認証を獲得し、貴金属の採掘にはじまり、職人による製品化から販売まで、宝石のライフサイクルを通じて、RJCが推奨する道徳、労働、社会、環境保全を含む認証プロセスの効果的な実施に取り組んでいます。

詳細は [www.responsiblejewellery.com](http://www.responsiblejewellery.com) をご覧ください。